普及活動情勢報告（令和７年１月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

将来の梨産地を見据えて　～針木梨組合における地域計画の協議～

地域計画の協議

12 月 19 日、針木集会所で、針木梨組合における地域計画の協議が開催され、組合員（代表者）６人が参加しました。

普及所は針木梨組合、関係機関とともに、ほ場整備の候補地や今後の進め方などの検討を支援しました。

参加者からは「ほ場整備の候補地を探り、梨の振興計画に基盤整備のことを位置づける」「最終的には自分のほ場を直し、作業場が近くにあるようにする」「スピードスプレーヤーは共同で使わんといかん、個人で持つ時代ではない」など、梨産地の将来について様々な意見が出されました。

普及所は今後も、関係機関と連携して、針木梨組合の計画の実現に向けて支援していきます。

情報交換会を開催！　～介良沖ノ丸環境保全の会～

情報交換会の様子

１月８日、高知市介良の公民館にて、介良沖ノ丸環境保全の会の生産者８名と関係機関が集まり、各機関からの情勢報告と意見交換を行いました。

普及所からは今年度に実施した水稲の試験結果を報告しました。有機栽培につながる栽培技術については、試験に協力頂いた生産者から「肥料経費を抑えるために始めたが、手間がかかりすぎたり、収量性が低い」といった率直な意見がありました。

普及所は今後も、生産者の意見に耳を傾け、課題解決に向けて取り組んでいきます。

多彩な料理でおもてなし　～北見市との伝統野菜交流会～

伝統野菜を使った料理

１月８日、はりまや橋商店街の「はりまやアンサンブル」にて、北海道の「北見市未来の農業担い手事業」で訪れた高校生と、ＴｅａｍＭａｋｉｎｏとの伝統野菜交流会が開催され、普及所は、準備、運営を支援しました。

交流会では、潮江菜や田村蕪などの伝統野菜に関するセミナーや伝統野菜を使った料理の試食、そして生産者との意見交換が行われました。

生徒からは「葉物野菜の栽培を学べて良かった」「料理もすごくおいしい」と、高知の伝統野菜に対する好感度が上がった様子がうかがえました。また交流会の様子はメディアにも取り上げられ、伝統野菜を広くＰＲすることができました

普及所は今後も、ＴｅａｍＭａｋｉｎｏの活動を支援していきます。

露地ショウガの生産安定に向けて　～マル朝生姜生産組合研修会の開催～	
 研修会の様子	1月10日、ＪＡ高知市マル朝生姜生産組合の研修会が開催され、生産者25名が参加しました。 普及所は、腐敗防止対策試験結果と地域版の防除暦について説明しました。 参加者からは、「貯蔵中の腐りが少なくなったら、手取りが増えるし助かる」「防除の参考になる」との声がありました。 普及所は今後もＪＡと連携し、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。